

日本有数の有機産地形成を目指して



福井県 越前市



今こそ、福井をかがやかせる時だ。

北陸新幹線
福井・敦賀 開業
2024
3.16 SAT



福井県
Fukui
Prefecture



福井県越前市 全国からの交通網はどんどん便利に！

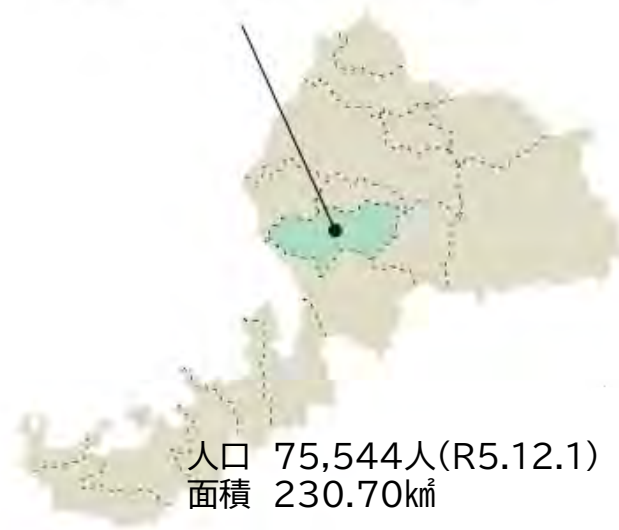




ここがわたしたちのまちです

福井県・越前市

越前市は、福井県のはぼ中央に位置し、市の中央を北陸自動車道と国道8号が縦断、関西・中京圏などの主要都市や福井市・敦賀市など周辺都市との交通の要衝となっています。また、両路線に交差するように国道417号や県道、主要地方道が横断しています。



市章



市の木「桜」



市の花「菊」



市の鳥「ユウナトリ」

滋慶学園学生による
平安キャラクター「紫式部」

1 紫式部と国府

「源氏物語」著者の感受性を育てた地



2 越前和紙

世界の注目を集め、今なお進化を続ける伝統の技



3 越前打刃物

一流料理人が圧倒的に支持する確かな相棒



4 越前箆笥

ものづくりの伝統と進化



5 ウォークアブルなまち

旧北陸道のまち並み

6 食のおもてなし

越前おろしそば発祥の地、越前市三大グルメ



越前市の有機農業は3本の柱で推進

1 規模感のある有機農業の推進

メガ有機農業（ファーム広瀬方式）の水平展開
J A 越前たけふの取組み

2 有機栽培技術のスマート化

経験則を言語化し、スマート技術で誰でもできる農業へ

3 有機農産物の更なる高付加価値化

販路拡大や6次化による商品開発で儲かる農業へ

越前市の有機農業は3本の柱で推進

1 規模感のある有機農業の推進

メガ有機農業（ファーム広瀬方式）の水平展開
J A 越前たけふの取組み

2 有機栽培技術のスマート化

経験則を言語化し、スマート技術で誰でもできる農業へ

3 有機農産物の更なる高付加価値化

販路拡大や6次化による商品開発で儲かる農業へ



農事組合法人 ファーム広瀬

(農) ファーム広瀬 法人概要

□ 名称： 農事組合法人 ファーム広瀬

□ 住所： 福井県 越前市 広瀬町129-6-1

□ 受託面積： 977,969 m² 全て「有機農業」

圃場数： 458 (平均：2,135m²/圃場)

内訳) ① 有機JAS認証： 747,828m²

② 県特別栽培認証1： 230,141m²

□ 作付面積： 124.3 ha (2毛作：26.5 haを含む) 【2023年】

内訳) ① 水稻：61.2ha ② 麦：29.9ha

③ 大豆：5.8ha ④ そば：27.0ha ⑤ 野菜：0.4ha

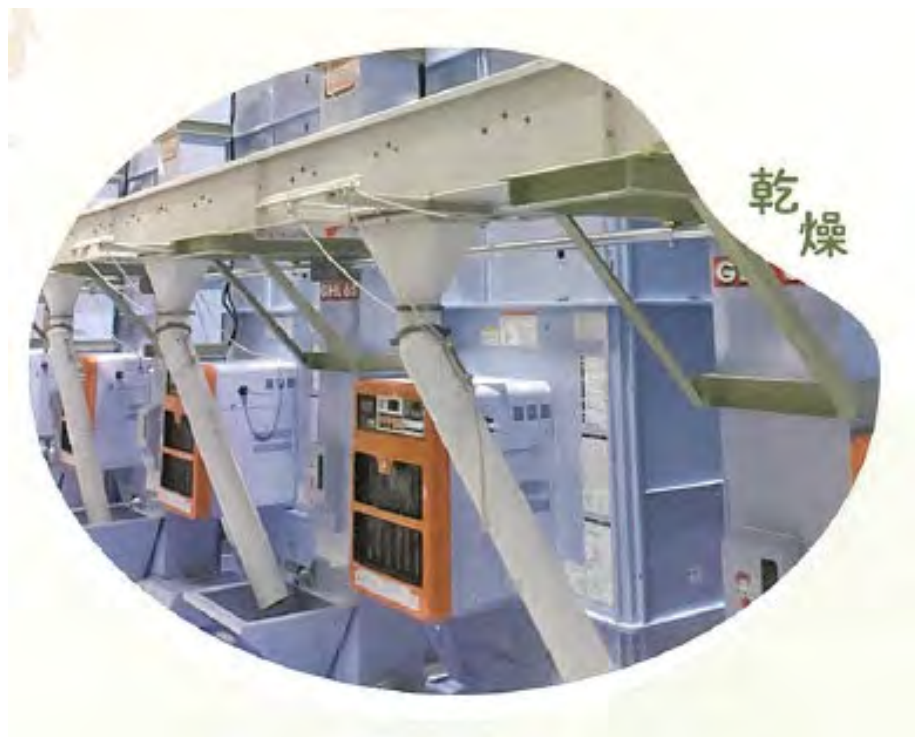
□ 常時従事者 (年間150日以上)：8人

・ 常時従事者： 組合員：3人 社員：5人

・ 地域協力者： 10名程度 (繁忙時期に従事)

育苗から乾燥調製まで一貫生産

しかも、全量マーケットイン（受託生産）



こだわりの低温乾燥

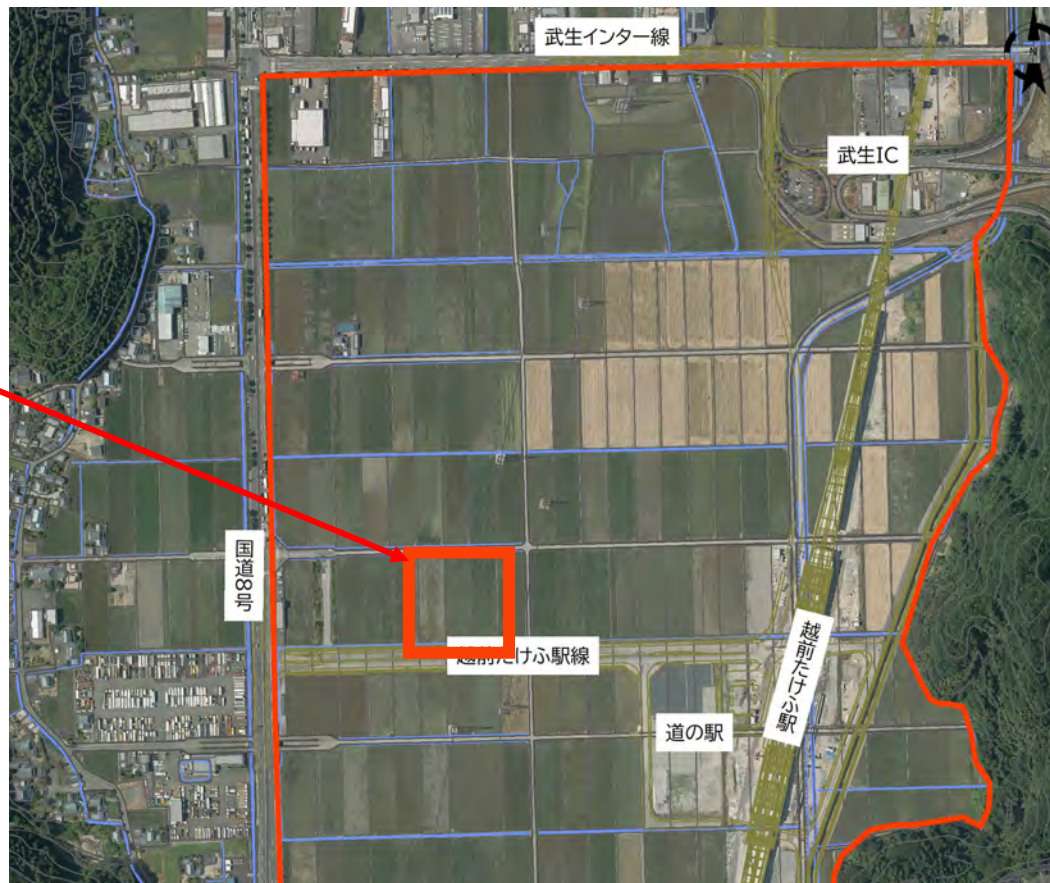
酵素を分解されないように温度を40度に保ちます。食味を失わないように低温乾燥でゆっくりと乾燥させます。米の水分のムラをなくすことで、米の食感を向上させることができます。

1 規模感ある有機農業（実証事業・マニュアル化）

1.2 haの実証圃で広瀬方式の有機栽培を実施



実証圃は新幹線駅前



横断幕で訴求



1 規模感ある有機農業（実証事業・マニュアル化）

実績

- 1 圃場を新幹線駅前に設置、多くの農家が視察
有機農業を広く訴求できた ※R5新規参入農家8名
- 2 実証圃では、品質すべて1等、収量は7.3俵/反
- 3 一定のノウハウの蓄積ができた



「JA越前たけふ」の有機農業の取組み

コウノトリ呼び戻す農法部会



コウノトリ呼び戻す農法

コウノトリも住める豊かな文化、地域、環境づくりを目指すための農法
(安全なお米と生き物を同時に育む農法)

基本的な考え

- ・生き物を大切にする
- ・化学的肥料及び農薬を使用しない
- ・遺伝子組み換え技術を利用しない

栽培要件

- ・無農薬・無化学肥料栽培
- ・中干延期の実施
- ・冬期湛水の実施
- ・水田魚道、水田退避溝設置

水田魚道の設置



冬期湛水の実施



J A越前たけふ 有機栽培米 インセンティブ買入制度開始

1.有機栽培コシヒカリ(認証①:無化学肥料・農薬不使用)



目標面積 30ha

単位:1俵あたり

| 品 種 | 等 級 | 1等 | 2等 |
|--------------|-----|-----------|-----------|
| コウノトリ呼び戻す農法米 | | 23,000円概算 | 18,000円概算 |

【取組要件】

- ・栽培期間中化学肥料・農薬不使用。
 - ※色選処理必須。
 - ※有機JAS認証までは求めません。
- ・コウノトリ部会の要件に応じた取組みが必要。



1 規模感ある有機農業

実績

「コウノトリ呼び戻す農法」の作付面積



有機栽培面積

38haの増!!

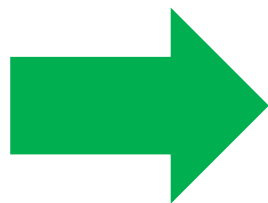
R 4 実績

241ha

R 5

279ha

→



東京ドーム

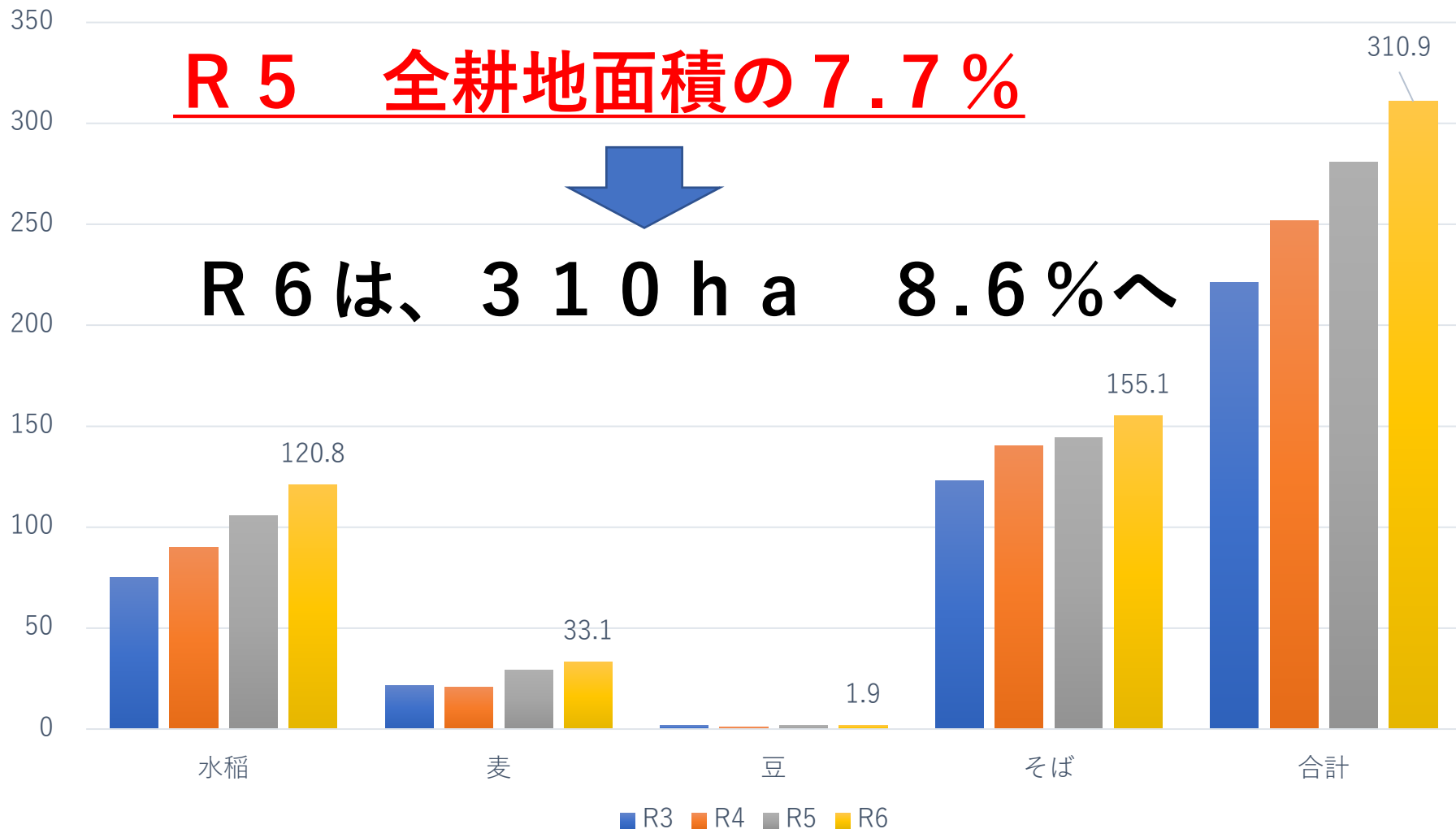
約8個分の面積増

有機栽培面積(実績)とR6目標

R5 全耕地面積の7.7%



R6は、310ha 8.6%へ



雑草対策 & もみ殻堆肥化プロジェクト

令和6年に向けた米づくり研修会 開催要領

※ J A 越前たけふ主催

無農薬栽培について考えてみませんか

雑草対策に係るビデオ研修会



日時 令和6年1月10日(水) 14時～16時
 会場 越前市生涯学習センター eホール
 内容 ビデオ解説を聞きながら学習します。

初心者、歓迎。
 気軽に学べて、
 申込みは不要。



主催：越前市有機農業産地づくり推進協議会・越前市

| 月 日 | 時 間 | 内 容 |
|-----------|-------------|---|
| 12月21日(木) | 13:00 | 受付 |
| | 13:30 | 開会 |
| | 13:30～13:40 | 主催者挨拶 |
| | 13:45～14:30 | インセンティブ買入制度共励会表彰式 |
| | 14:40～15:30 | 講演：籾殻(未利用資源)の有効活用について 福井県立大学 生物資源学部 創造農学科 学科長 木元 久 教授 |
| | 15:40～16:10 | 今年より産地づくり推進協議会と今年より産地づくり推進協議会 |



専門的知見、
 現場課題を踏まえ
 検討会や研修会を実施

2023年7月4日 県民福井

越前市の有機農業は3本の柱で推進

1 規模感のある有機農業の推進

メガ有機農業（ファーム広瀬方式）の水平展開
JA越前たけふの取組み

2 有機栽培技術のスマート化

経験則を言語化し、スマート技術で誰でもできる農業へ

3 有機農産物の更なる高付加価値化

販路拡大や6次化による商品開発で儲かる農業へ

2 有機農業にスマート技術を応用（収量の増加）

- ・ 生育ステージを画像判断し、
有機農業における追肥適期を特定する実証
- ・ カメラを設置し、画像データの収集と分析開始



協力：NTTデータ

2 有機農業をスマート技術で

R6では

追肥タイミングを判断する実証を継続

- ・従来、追肥タイミングの判断や
食味と収量の両立は困難とされてきた



有機米の収量と品質の向上につながる

2 有機農業にスマート技術を応用（作業の効率化）

- ・ドローンを使った「有機肥料」の散布実証
衛星画像データとの連携も



ファーム広瀬、福井県、クボタ本社と



2 有機農業にスマート技術を応用（水管理の効率化）

・有機農業における水管理の効率化・自動化



クボタ W A T A R A S

クボタとの打ち合わせ

越前市の有機農業は3本の柱で推進

1 規模感のある有機農業の推進

メガ有機農業（ファーム広瀬方式）の水平展開
J A 越前たけふの取組み

2 有機栽培技術のスマート化

経験則を言語化し、スマート技術で誰でもできる農業へ

3 有機農産物の更なる高付加価値化

販路拡大や6次化による商品開発で儲かる農業へ

3 有機農産物の6次化、販売促進

学校給食に

「コウノトリ呼び戻す農法米」(特裁1)を導入

※市内全小中学校24校、1週間のみ



越前市内の全小中学校の給食で23日から30日まで、無農薬無化学肥料で栽培された「コウノトリ呼び戻す農法米」が順次提供されている。

児童たちが、生き物との共生の中で収穫された自然の恵みをかみしめている。市は昨年度、一部学校の給食に白山・坂口地区をは

コウノトリ米「甘い」

越前市 全小中の給食で提供



コウノトリ呼び戻す農法米の給食を味わう
王子保小児童=24日、越前市の同校

じめ市内で栽培された同農法米を取り入れており、本年度は全校に対象を広げた。同市のふるさとこの日が来る10月に合わせ、自校給食の全小中学校と武生二中坂口分校、武生五中、南越中では23日から27日まで連日提供選択制給食のスクールランチを採用するその他5中学では23、30日に取り入れる。近くの田んぼに「コウノトリ」が飛来する王子保小では24日、全校児童約250人が同農法米の米飯と地元産鶏卵のかき玉スープなどの「ご飯より甘くて新鮮な感じ」がしておいしいと笑顔で箸を進めていた。(細川善弘)

2023年10月27日 福井新聞

3 有機農産物の6次化、販売促進

～ コウノトリブランド ～

商品の拡充、商品パッケージ等補助



3 有機農産物の6次化、販売促進

- ・オーガニック食材の和膳を試作、試食会・アンケート実施
- ・有機農産(加工)品を主とした常設販売拠点の整備



| | | 回答者1 | 回答者2 | 回答者3 | 回答者4 | 回答者5 | 回答者6 | 回答者7 |
|--------------------------|--|---------------------|--------|----------|---------------------|------|------|----------------|
| 1 | 最終はいかがでしたか | 多かった | 少なかった | ちょうどよかった | 無効 | | | |
| 2 | 量はいかがでしたか | 多かった | 少なかった | ちょうどよかった | 無効 | | | |
| 3 | お味はいかがでしたか | 良かった | 悪くなかった | 普通 | | | | 味も味もわかるくらい良かった |
| 4 | 価格はいかがでしたか | 高い | 安い | 普通 | 無効 | | | |
| 最も興味があったお料理を2つ教えてください | | | | | | | | |
| 良かったと思われる点を2つ教えてください | | | | | | | | |
| アンケート調査 | | | | | | | | |
| 良かったと感じる点を2つ教えてください | 価格で満足できるという点です | 色味に工夫して新しい | それは+ | 味に食べたい | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | | | |
| | 価格で満足できるという点です | 色味に工夫して新しい | それは+ | 味に食べたい | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | | | |
| 料理全般にわたり、自由に感想をお聞かせください。 | | | | | | | | |
| | M様のお下タイミンが良かったという点です。味も味もわかるくらい良かったです。 | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | それは+ | 味に食べたい | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | | | |
| | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | それは+ | 味に食べたい | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | | | |
| | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | それは+ | 味に食べたい | おさしるばをデザートの前にはず方が良い | | | |



3 有機農産物の6次化、販売促進

特裁①吟醸酒

有機JAS米

軽井沢など、
オーガニックを求める層の
多い市場を開拓

有機JAS米
手焼きせんべい



軽井沢町直売所での売り場の様子

3 有機農産物の6次化、販売促進（脱炭素）

越前市一体型 温室ガス削減

越前市とJA越前たけふ、県民生活協同組合、農協、市社協の四者は二十八日、地域一体型の食の温室効果ガス削減運動に関する連携協定を締結した。

市環境基本計画や市食と農の創造ビジョンに基づき、生産者や事業者、市民、行政が一体となって温室効果ガス削減運動を推進する目的。農産物の生産から消費まで一連の流れの中で、生産者や事業者、市民が、それぞれの役割に

市は、市民一人が一人出ず燃やせる、みの屑を減らす「チャレンジ運動」を始め、食べきりごみの水切り、雑紙のなどを推進する。JAたけふとの連携では、物の温室効果ガス削減ベルを用いて消費者にわかりやすく表示する「県産化」なども進める。見守りは、農林水産省の実証

締結式は、越前市本多の越前たけふ農協会館で行われ、JA越前たけふの土本俊二組合長、県民生協の松宮幹雄理事長、市社協の福田修治会長、山田賢一市長が出席。山田市長はあいさつで「生産から流通・販売、廃棄まで、行政だけでなく民間企業や市民も含め

協定書を手にする（手前右から）山田市長、福田会長、松宮理事長、土本組合長。越前市の越前たけふ農協会館で

2023年6月29日 日刊県民福井

市、JA越前たけふ、生協、市社協 農産物生産から消費まで

た活動を展開することで、温室効果ガス削減や環境問題に対応していく」と決意を述べた。

市、農協、生協、市社協連携

食と農の各局面で

温室効果ガス削減を目指す!!

3 有機農産物の6次化、販売促進（脱炭素）

J A越前たけふでは、コウノトリ呼び戻す農法部会や環境調和型農業における県認証を統一的に「団体申請」



農水省の「見える化ラベル」を J Aが団体申請。その総数2万枚

J A越前たけふは、コウノトリ呼び戻す農法など環境調和型農業で今年収穫された特別栽培米に、農産物の栽培段階の温室効果ガス削減効果を示す農林水産省の「見える化ラベル」を導入し14日、越前市のコープたけふ平出店で販売を始めた。同ラベルの導入は県内で初めて。

見える化ラベル制度は、農業・化学肥料の使用や燃料・電力消費を低減して栽培された農作物の販売時に、慣行農業と比較した場合の温室効果ガス削減効果をシールで表示する。越前市が同J Aなどと結んだ連携協定に基づく取り組みで、環境負荷低減の消費者意識向上を図る。シールは削減率に応じて3段階の表示があり、同J A管内の特別栽培米のうち、無農薬・無化学肥料のコウノトリ呼び戻す農法米が20%以上の星三つ、農薬半減・無化学肥料と農薬半減・化学肥料半減の栽培米が10%以上の星二つの認定を受けた。

同J Aは2007年から、環境調和型農業を組織的に推進しており、管内の特別栽培米の作付面積は県内の半分に相当する。農水省から約1万枚のラベルを、本年度の全国15%を占める。土合長は「農家の環境を消費者に理解してもらいたい」と、本年度の特別栽培1500トンの出荷の大部分は卸売して近畿圏内での販売を確保する。平出店を除く各店では9月店頭に並ぶ。（細

J A越前たけふ 特裁米販売開始 温室ガス削減ラベル導入



温室効果ガス削減効果の見える化ラベルを張って販売が始まったJ A越前たけふの特別栽培米=14日、越前市平出2丁目のコープたけふ平出店

3 有機農産物の6次化（新幹線開業に合わせ）

- ◆ ナチュラルワイナリー
 - ・ 耕作放棄地 5 h a 開墾
 - ・ ワイン用ブドウ栽培
 - ・ 併設レストラン 3月開業

- ◆ イチゴハウス増設
併設レストラン 2月開業



農水省
強い農業づくり総合支援交付金活用

「食と農」で誘客機運



越前たけふ駅周辺

観光農園、ワイナリーがレストラン：

親子が農園で収穫したトマトでソースを自作し、生地に塗って焼き上げた手作りピザを味わう。観光農園「明城ファーム」（同市杉崎町）が目指すのは、そんな体験ができるイタリアンレストランだ。イチゴのスイー



6次化

「食と農」で誘客機運
素材を生かす産
取り入れた地場産
物のコース料理を
提供。食器や調度
伝統工芸を随所に
営会社の西野恒樹
の食材は全国に於
「食材を本来の価
格で仕入れ、生
上につなげていき
市環境農林部は、駅近

どと連携し、自然体験を
させたさらなる誘客を期
している。
■価値に見合った価格で
白山地区で栽培したア
主な原料とするワイナリ
ックス・スリー・エステ

2023年8月7日 福井新聞

ご清聴ありがとうございました

